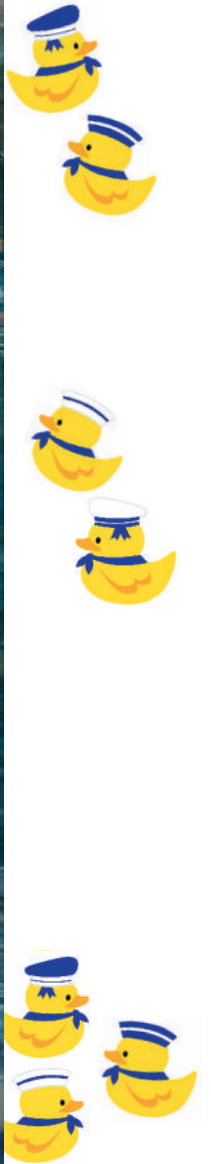
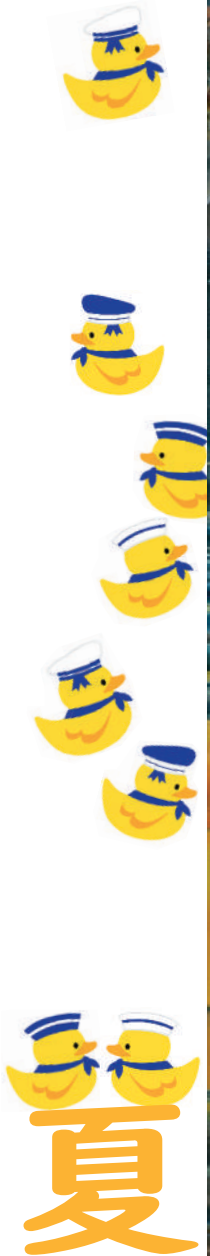


静岡教弘だより

静岡支部
HP からも
ご覧いただけます。



2026 NO.163



「かお」 静岡県立浜松江之島高等学校1年(2025年度) 牧野 桃
夏の暑さの中、川遊びに夢中になる少女がかわいらしくて描きたい
と思いました。幼い子の何を考えているのか分からない顔を表現するた
めに表情に注意して描きました。顔を強調するために多くの色を使い、目
や口などのパーツは質感を変えて描きました。

静岡教弘教育研究実践論文募集のお知らせ
令和7年度事業報告・令和8年度事業計画
静岡教弘リタイアメントライフプランニングセミナー開催のお知らせ
元気発信局 静岡県立中央特別支援学校

編集/公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部

発行/株式会社静岡教弘

印刷/株式会社篠原印刷所

静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館4F TEL 054-205-5130
環境保全のため再生紙及び大豆インキを使用しています。

2026年7月1日発行

誰かに頼ってもいいし、頼らずに生きてもいい ～ホトケノザ～

公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
支部長 下橋 一徳

桜の花に彩られながらスタートした令和8年度も早3か月が過ぎ、朝顔やヒマワリの季節となりました。静岡教弘（公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部）も6月25日に開催されました幹事会・運営委員会において、新たな役員に就任いただき、組織が確立し、令和7年度の事業報告も承認されました。各学校からの成果報告書とともに、奨学生である子どもたちからも、成果報告書が届いています。

【令和7年度奨学生学習成果報告書より】（一部抜粋）

～前略～ 金銭的な不安が軽減したおかげで安心して生活できるようになり、現在は学業に支障のない範囲でアルバイトもしています。奨学金制度は、様々な事情を抱えている方々を手助けしてくれるものであり、実際に利用したことで、**自分も誰かを救い、周りのために尽くすことができる生き方をしていきたいという気持ちが強くなりました。** ～後略～

子どもたちの「**自分も誰かの役に立てる人になりたい**」という『恩送り』の言葉に心洗われます。金銭的支援への感謝ではなく、「**支えられ、励まされている**」ことへの『感謝』の言葉に心打たれます。少額な奨学金ですから、決して十分とは言えず、アルバイトや他の奨学金との併用で、就学費用や生活費を工面している子どもが多いです。以前、高校の先生に「1人当たりの奨学金の額を増やしましょうか」と提案しました。お返事は、「いや、子どもが一步踏み出す『きっかけ』を作ってくださいることが大切です」でした。私も教師でしたから、子どもの「自立」を意識してきたつもりでしたが、お恥ずかしい限りでした。「**子どもたちを支える**」ということの意味を改めて考える機会になりました。

先日、新聞に「ホトケノザ」の記事が掲載されていました。

「ホトケノザ」は、ピンクの美しい花びらが蜂を誘い、ランにも似た形状が奥の蜜へと導き、蜂の体に花粉を付け、他の花に受粉してもらう。しかも、できた種子には蟻が好きな香りがついているので、蟻が遠くまで運んでくれる。一方、蜂が少なくなる夏が近づくと、「ホトケノザ」は目立たない花をつける。花は開かず、蕾のまま結実する「閉鎖花」で、自家受粉する。

「誰かに頼ってもいいし、頼らずに生きてもいい」「共生と自立」

いつまでたっても子どもの姿や植物に学び、感動することが多いです。

「**最終受益者は子どもたち**」、この言葉を大切に、思いを同じにする教弘会員の皆様のお力を借りながら、学校・教職員・子どもたちのために尽力してまいります。皆様のより一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



「ホトケノザ」
3/28 藤枝蓮華寺池公園
左下：閉鎖花

学校・園に元気を！子どもたちに笑顔を！教育関係者の皆様に笑顔と安心を！

国公立幼稚園・こども園にチューリップ球根を1園 100 球贈呈!!

春の入園式を華やかに彩り、新しい仲間を迎えようと職員で大切に植えさせていただきました。しかし、まるで卒園していく子どもたちの門出を一足早くお祝いしてくれているかのように、卒園式当日の朝、一輪だけ誇らしげに花を咲かせてくれました。本来の予定よりも少し早い開花でしたが、その一輪を見つけた子どもたちは『おめでとうって言ってるみたい!』と大喜びで、予期せぬ最高のプレゼントとなりました。ありがとうございました。

磐田市立長野幼稚園 園長 袴田まり子



今年度も
申込締切は
8月末日
です！



写真左より /

磐田市立青城こども園

沼津市立大平こども園

浜松市立大崎幼稚園

令和 8 年度 運営委員会 開催



支部長 下橋一徳



副支部長 大根富木



副支部長 織田 敦



副支部長 野村昌宏



常任幹事 仁科 聡



幹事 中川 恵



幹事 神谷 昇



幹事 小関雅司



監査 平川雅博



監査 大坪淳子

令和8年6月25日に令和8年度第1回静岡教弘幹事会が開催され、令和7年度の事業・決算報告の承認、運営委員の選出と委嘱がされました。また、第1回運営委員会では、令和8年度の幹事及び監査が選任されました。

なお、令和8年度の事業計画・予算は、令和7年度第7回静岡教弘幹事会において既に決定し、これに基づいて事業を進めております。

詳しくは、本号3・4ページをご覧ください。

役 員	職 名	氏 名	現 職 名
	支部長	下 橋 一 徳	
	副支部長	大 根 富 木	静岡県校長会会長
		織 田 敦	静岡県高等学校長協会会長
		野 村 昌 宏	静岡県教職員組合中央執行委員長
	常任幹事	仁 科 聡	
	幹 事	中 川 恵	静岡県教職員互助組合理事長
		神 谷 昇	静岡県教職員生活協同組合理事長
		小 関 雅 司	島田樟誠高等学校校長
	監 査	平 川 雅 博	静岡県公立小中学校事務職員会会長
		大 坪 淳 子	静岡県公立高等学校事務職員協会会長
運 営 委 員	所 属	氏 名	現 職 名
	静岡県校長会	山 本 吉 則	熱海市立泉小中学校校長
		藤原かおり	伊豆の国市立長岡中学校校長
		竹 内 明 仁	静岡市立清水高部小学校校長
		杉 本 好 基	藤枝市立藤枝小学校校長
		増 田 裕 香	掛川市立上内田小学校校長
		相 曽 智 司	森町立飯田小学校校長
		小 山 貴 広	浜松市立葵が丘小学校校長
		山 田 英 明	湖西市立白須賀中学校校長
	静岡県高等学校長協会	櫻 井 教 文	県立小山高等学校校長
		山 崎 文 則	県立清水東高等学校校長
		松 場 勉	県立静岡西高等学校校長
		磯 部 正 之	県立磐田農業高等学校校長
	静岡県教育諸団体	高 橋 和 彦	県特別支援学校長会会長・県立中央特別支援学校校長
		向 島 恵 子	県公立小中学校教頭会会長・静岡市立西豊田小学校教頭
		後 藤 啓 介	県高等学校等副校長・教頭会常任理事・静岡市立高等学校副校長
		山 下 英 美	県公立小中学校事務職員会副会長・島田市立島田第四小学校統括室長
		村 松 弘 文	県公立高等学校事務職員協会副会長・県立沼津東高等学校事務長
		鈴 木 矢 々	浜松市立幼稚園長会常任理事・副会長・浜松市立笠井幼稚園園長
		松 永 幸 伸	県私学協会事務局次長
		館 一 徹	書記長
	静岡県教職員組合	野 村 亜 希	中央執行委員
		山 田 佳 奈	中央執行委員
		河 合 正 樹	中央執行委員(浜松教組)
		大 崎 陽 介	静岡教組執行委員長
		渡 邊 悠 葵	静岡教組東部エリア 書記長
		中 島 竜 吾	静岡教組伊豆エリア 副エリア長
		鷲 山 智 久	静岡教組中部エリア エリア長
		中 村 晋	静岡教組西部エリア 代表

「静岡教弘だより」の編集にあたりましては、運営委員全員がモニターとして意見や感想等を報告し、編集委員会で、その内容を反映させた原稿づくりを行っています。
今後も紙面の充実を図り、情報を発信してまいります。

令和7年度事業報告・令和8年度事業計画

● 教育振興事業は、教育振興事業選考委員会の選考後、幹事会の議を経て、支部長が決定します。

教育振興事業		令和7年度 事業報告		令和8年度 事業計画																																				
Ⅰ 奨学事業																																								
●奨学金の貸与		最高 100 万円・無利息 55 件総額 4,800 万円 令和8年3月31日現在残高 431 件 281,886,838 円		最高 100 万円・無利息 55 件程度 4,800 万円 令和9年2月1日より申し込み受付予定																																				
●奨学金の給付		公立高校長、私立高校長、特別支援学校長、県高校長協会、県私学協会、県特別支援学校長会の推薦に基づき、公立高校、私立高校、国立・公立特別支援学校高等部在学中の生徒を対象に、全日制 7 万円、定時制・通信制 3 万円、特別支援学校 3 万円を給付																																						
1 高等学校等 給付奨学生		全日制 196 人 定時制・通信制 76 人 特別支援学校高等部 35 人 総額 17,050,000 円		全日制 197 人 定時制・通信制 75 人 特別支援学校高等部 36 人 総額 1,712 万円																																				
2 大学給付 奨学生（予約型）		修学意欲がありながら学資金の支払いが困難と認められる4年制大学生に対し、奨学金月額3万円を4年間給付する事業を、高等学校・特別支援学校高等部最終学年在籍者を対象に6人募集																																						
		合計 24 人 内 18 人給付中		合計 30 人 内令和7年度 18 人給付中令和8年度より6人給付開始																																				
Ⅱ 教育研究助成事業																																								
●研究助成金の贈呈		県教育委員会、静岡市・浜松市教育委員会、県校長会、県高校長協会、県特別支援学校長会、県私学協会、県教職員組合、静岡教弘参事会の推薦に基づき、地域との連携や特色ある教育研究活動の実践を推進し、実績を上げている学校、団体等に対し、1 件 10 万円を贈呈																																						
1 静岡教弘 教育活動助成金		238 件 総額 2,380 万円		239 件 総額 2,390 万円																																				
2 静岡教弘 研修補助金		県教育委員会、県校長会、県高校長協会、県特別支援学校長会、浜松市立幼稚園長会、県私学協会、静岡教弘参事会の推薦に基づき、校内研修における講師の招請、または、校外研修にかかる旅費等に対し 1 件 10 万円を贈呈																																						
		104 件 総額 1,040 万円		104 件 総額 1,040 万円																																				
3 静岡教弘 教育研究実践 論文助成金		<table><tr><td></td><td colspan="2">学校部門</td><td colspan="2">個人・グループ部門</td><td rowspan="2">令和8年度 奨励編数 (両部門合わせて)</td></tr><tr><td></td><td>奨励金額</td><td>令和7年度 実績</td><td>奨励金額</td><td>令和7年度 実績</td></tr><tr><td>静岡教弘最優秀賞</td><td>60 万円</td><td>1 編</td><td>30 万円</td><td>1 編</td><td>2 編（各 1 編）</td></tr><tr><td>静岡教弘優秀賞</td><td>30 万円</td><td>2 編</td><td>10 万円</td><td>3 編</td><td>5 編</td></tr><tr><td>静岡教弘優良賞</td><td>10 万円</td><td>4 編</td><td>5 万円</td><td>15 編</td><td>20 編程度</td></tr><tr><td>静岡教弘奨励賞</td><td>3 万円</td><td>30 編</td><td>1 万円</td><td>78 編</td><td>上記以外の全ての論文</td></tr></table>					学校部門		個人・グループ部門		令和8年度 奨励編数 (両部門合わせて)		奨励金額	令和7年度 実績	奨励金額	令和7年度 実績	静岡教弘最優秀賞	60 万円	1 編	30 万円	1 編	2 編（各 1 編）	静岡教弘優秀賞	30 万円	2 編	10 万円	3 編	5 編	静岡教弘優良賞	10 万円	4 編	5 万円	15 編	20 編程度	静岡教弘奨励賞	3 万円	30 編	1 万円	78 編	上記以外の全ての論文
	学校部門		個人・グループ部門		令和8年度 奨励編数 (両部門合わせて)																																			
	奨励金額	令和7年度 実績	奨励金額	令和7年度 実績																																				
静岡教弘最優秀賞	60 万円	1 編	30 万円	1 編	2 編（各 1 編）																																			
静岡教弘優秀賞	30 万円	2 編	10 万円	3 編	5 編																																			
静岡教弘優良賞	10 万円	4 編	5 万円	15 編	20 編程度																																			
静岡教弘奨励賞	3 万円	30 編	1 万円	78 編	上記以外の全ての論文																																			
		静岡教弘助成金総額 463 万円 日教弘教育賞総額 15 万円・奨励賞 2 編受賞		静岡教弘助成金総額 500 万円・日教弘教育賞 3 編推薦 予定																																				
4 静岡教弘 教育研究団体 助成金		県校長会研究会、県高校長協会研究会、県教職員組合教育研究集会、県公立小中学校教頭会研究会、県高等学校等副校長・教頭会研究会、県公立高等学校事務職員協会研究会、県教職員組合養護教員部研修会、県小中学校養護教諭研究会、県高等学校養護教育研究会、県特別支援学校長会研究会、県公立小中学校事務職員会研究会、東部公立小中学校事務研究会、静岡地区公立小中学校事務研究会、静岡市公立小中学校事務職員会研究会、浜松市公立小中学校事務研究協議会、県私学協会研究会、県教育研究会、浜松市教育研究会																																						
		総額 425 万円		総額 425 万円																																				
5 静岡教弘 全国レベルの 研究大会助成金		<table><tr><td>① 第 79 回指定都市小学校長会研究協議会 静岡大会 ② 第 11 回全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会 ③ 第 42 回東海地区学校図書館研究大会（静岡大会） ④ 第 80 回関東甲信静数学教育研究静岡（富士）大会 ⑤ 第 18 回東海ブロック国際理解教育研究大会 ⑥ 令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会総会 ⑦ 令和7年度全国高等学校長協会家庭部会東海地区連絡・研究協議会 ⑧ 令和7年度第 53 回全国理数科教育研究大会（静岡大会） ⑨ 令和7年度東海地区総合学科高等学校長協会第1回・第2回研究協議会、第 26 回東海地区高等学校総合学科教育研究大会 ⑩ 令和7年度第 77 回中部地区高等学校通信制教育研究会 総会・研究協議会静岡大会 ⑪ 令和7年度東海地区工業高等学校長教育研究会 総会・研究協議会</td><td>① 第 83 回大都市中学校長会連絡協議会「浜松大会」 ② 第 48 回東海北陸地区特別支援教育研究大会静岡大会 ③ 令和8年度第 77 回関東甲信越静学校保健大会 ④ 第 54 回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会静岡大会 ⑤ 第 76 回全国英語教育研究団体連合会総会・全国英語教育研究大会 ⑥ 令和8年度第 67 回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） 第 62 回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） ⑦ 令和8年度東海地区普通科高等学校長会 理事会・研究協議会 ⑧ 令和8年度全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第 59 回東海支部 総会並びに研究協議会 ⑨ 東海地区建築教育研究会 総会並びに研究協議会 ⑩ 第 50 回東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会</td></tr><tr><td colspan="2">総額 60 万円</td><td colspan="2">総額 70 万円</td></tr></table>				① 第 79 回指定都市小学校長会研究協議会 静岡大会 ② 第 11 回全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会 ③ 第 42 回東海地区学校図書館研究大会（静岡大会） ④ 第 80 回関東甲信静数学教育研究静岡（富士）大会 ⑤ 第 18 回東海ブロック国際理解教育研究大会 ⑥ 令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会総会 ⑦ 令和7年度全国高等学校長協会家庭部会東海地区連絡・研究協議会 ⑧ 令和7年度第 53 回全国理数科教育研究大会（静岡大会） ⑨ 令和7年度東海地区総合学科高等学校長協会第1回・第2回研究協議会、第 26 回東海地区高等学校総合学科教育研究大会 ⑩ 令和7年度第 77 回中部地区高等学校通信制教育研究会 総会・研究協議会静岡大会 ⑪ 令和7年度東海地区工業高等学校長教育研究会 総会・研究協議会	① 第 83 回大都市中学校長会連絡協議会「浜松大会」 ② 第 48 回東海北陸地区特別支援教育研究大会静岡大会 ③ 令和8年度第 77 回関東甲信越静学校保健大会 ④ 第 54 回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会静岡大会 ⑤ 第 76 回全国英語教育研究団体連合会総会・全国英語教育研究大会 ⑥ 令和8年度第 67 回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） 第 62 回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） ⑦ 令和8年度東海地区普通科高等学校長会 理事会・研究協議会 ⑧ 令和8年度全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第 59 回東海支部 総会並びに研究協議会 ⑨ 東海地区建築教育研究会 総会並びに研究協議会 ⑩ 第 50 回東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会	総額 60 万円		総額 70 万円																														
① 第 79 回指定都市小学校長会研究協議会 静岡大会 ② 第 11 回全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会 ③ 第 42 回東海地区学校図書館研究大会（静岡大会） ④ 第 80 回関東甲信静数学教育研究静岡（富士）大会 ⑤ 第 18 回東海ブロック国際理解教育研究大会 ⑥ 令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会総会 ⑦ 令和7年度全国高等学校長協会家庭部会東海地区連絡・研究協議会 ⑧ 令和7年度第 53 回全国理数科教育研究大会（静岡大会） ⑨ 令和7年度東海地区総合学科高等学校長協会第1回・第2回研究協議会、第 26 回東海地区高等学校総合学科教育研究大会 ⑩ 令和7年度第 77 回中部地区高等学校通信制教育研究会 総会・研究協議会静岡大会 ⑪ 令和7年度東海地区工業高等学校長教育研究会 総会・研究協議会	① 第 83 回大都市中学校長会連絡協議会「浜松大会」 ② 第 48 回東海北陸地区特別支援教育研究大会静岡大会 ③ 令和8年度第 77 回関東甲信越静学校保健大会 ④ 第 54 回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会静岡大会 ⑤ 第 76 回全国英語教育研究団体連合会総会・全国英語教育研究大会 ⑥ 令和8年度第 67 回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） 第 62 回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（静岡大会） ⑦ 令和8年度東海地区普通科高等学校長会 理事会・研究協議会 ⑧ 令和8年度全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第 59 回東海支部 総会並びに研究協議会 ⑨ 東海地区建築教育研究会 総会並びに研究協議会 ⑩ 第 50 回東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会																																							
総額 60 万円		総額 70 万円																																						
Ⅲ 教育文化事業																																								
●地域教育振興への助成		退職校長親和会の地域教育振興事業へ 30 万円を、地域と連携した教育文化活動を継続的に推進し、実績を上げている学校、教育団体等に総額 40 万円を助成		退職校長親和会の地域教育振興事業へ 30 万円を助成																																				
●PTA の活動への助成		県校長会・県高校長協会と協議し、幼児・児童・生徒の健全な育成を目的とした県 P 連のすぐれた PTA 活動や、高 P 連の主催する講演会等に 80 万円を助成																																						
●教育文化講演会への助成		教育講演会の主催団体として、県下 22 会場で専門家、著名人を招いて地域社会の文化の向上、教職員の知識と教養の向上のための講演会を開催し、総額 60 万円を助成																																						
お問い合わせ 教育講演会・・・・・・ 静岡県教育会館事務局 TEL 054-252-1011																																								

福祉事業		令和7年度 事業報告		令和8年度 事業計画		
●祝金・記念品の贈呈	祝金・記念品	贈呈額	令和7年度	令和8年度		
	結婚祝金	1万円	172人	170人		
	誕生祝金		311人	300人		
	30歳誕生日記念品	カタログギフト (5千円相当)	226人	250人		
	40歳誕生日記念品		212人	220人		
	50歳誕生日記念品		205人	190人		
	60歳誕生日記念品		387人	330人		
	健康増進補助（59歳対象）	フットピロー	274人	310人		
●宿泊補助	宿泊施設	令和7年度		令和8年度		
		補助金額 (1泊につき)	年間限度 泊数	利用者	補助金額 (1泊につき)	年間限度 泊数
	日教弘指定宿泊施設	2千円	7泊	147人	2千円	7泊
	静岡教弘提携ホテル			470人		
	日教弘指定宿泊施設 教弘関連宿泊施設・東急ホテルズ・阪急阪神第一ホテルグループ・リーガロイヤルホテルグループ 静岡教弘提携ホテル 伊東園ホテルグループ・ホテル鞠水亭・ホテルウェルシーズン浜名湖・ホテルコンコルド浜松・ ホテルアンピア松風閣 ● 詳しくは「宿泊補助のご案内」をご覧ください。					
●教弘友の会 変更しました！	事業	内容等	令和7年度		令和8年度	
	友の会だよりの発行	4,500部	年1回発行	会員数4,099人	年1回発行	
	人間ドック受診補助金	61～67歳対象	5千円	769人	5千円	
	余暇活動補助	61歳対象	3千円	21人	令和7年度末事業終了	
	損害保険「教弘フルガード 〔団体総合生活保険〕」の案内	傷害事故・賠償事故・携行品損害・救済者費用損害を補償 チラシの送付、参事によるパンフレット配布により加入推進				
●静岡教弘だより発行	年4回					
●静岡教弘 リタイアメントライフ プランニングセミナー	令和7年度に60歳・61歳を迎えた教弘会員をはじめ希望者等も対象にリタイアメントライフを充実させるためのプランニングに関するセミナーを県下6会場で開催		令和8年度に60・61・62歳を迎える教弘会員をはじめ希望者等も対象にリタイアメントライフを充実させるためのプランニングに関するセミナーを県下6会場で開催（日程等はP6参照）			
●損害保険	東京海上日動火災保険会社と提携し、「教職員収入ロングウェイサポート〔団体総合生活保険〕」の普及・拡大のため、広報チラシの送付					
	募集期間 令和7年6月1日～令和8年6月20日 中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の 翌月1日午前0時～令和8年8月1日午後4時		募集期間 令和8年6月1日～令和9年6月20日 中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の 翌月1日午前0時～令和9年8月1日午後4時			
共済事業 提携保険事業		令和7年度 事業報告		令和8年度 事業計画		
●生命保険		日教弘会員である教育関係者のための共済制度として、ジブラルタ生命保険株式会社と提携し、互助の精神を基盤に、集団契約特約を付加した割安な保険料で大きな保障が得られる教育関係者だけが加入できる「教弘保険」の普及・拡大				

6つの 福・社・事・業

申請が必要!!
締切期限
注意!!

結婚

結婚祝金

お子様の誕生

誕生祝金

指定施設の宿泊

宿泊補助

61～67歳(友の会)

人間ドック受診補助金

59歳

健康増進補助

30・40・50・60歳

30・40・50・60歳誕生日記念品

申請をしなくても
お届けします！

福祉事業は「教弘保険加入者」が対象です!!

♥福祉事業の「祝金・記念品の贈呈」は、それぞれ、教弘保険への継続加入条件等に該当している方が対象となります。

♥各種申請書のご請求、ご不明な点等がございましたら、静岡教弘事務局(054-205-5130)またはジブラルタ生命学校担当者にお問い合わせください。

♥各種申請書は、下記URL(静岡支部HP)からもダウンロードできます。
<https://www.nikkyoko.or.jp/company/shizuoka/dl.html>

♥「30・40・50・60歳誕生日記念品」は、カタログギフト(5,000円相当)です。お楽しみに！

6月19日に「静岡教弘教育活動助成金」239件と「静岡教弘研修補助金」103件が贈呈校(園)に決定しました。7月中旬から、該当校(園)にお伺いして、教育活動助成金と研修補助金の贈呈式を行います。

4



静岡県立 中央特別支援学校

しずおかけんりつ
ちゅうおうとくべつしえんがっこう



学校教育目標 「皆と共に心豊かにたくましく生きる力を育てる」
～伝え合う つながり合う 分かち合う～

中央特別支援学校は、昭和33年静岡県立養護学校として設立し、その後校名を変更し60年以上にわたり小学部から高等部の肢体不自由の障害のある児童生徒の学習支援を行っています。また、寄宿舎「咸宜寮」を併設しており、県立こども病院や静岡てんかん神経医療センター、つばさ静岡、在宅への訪問教育も行っています。

目標を具現化するため、将来の豊かな生活に向けて児童生徒を中心に置き、教職員、保護者、関係機関、地域が一体となって、「安全・安心」「指導」「連携」の3つの柱で取り組んでいます。

安全・安心

「安全・安心」では、学校に関わるすべての人が「キラリ」と光ったり、心が「ホット」温まったりすることを伝え合い、つながっていく「キラリ＆ホット」の視点を大切にする教育活動を進めています。「キラリ＆ホットのキャラクター」や、「キラリ＆ホットの集会」、「キラリ＆ホットの木」など、「キラリ＆ホット」を身近に感じられる取り組みを行っています。

指導

「指導」では、静岡県障害者スポーツ協会主催の巡回指導でポッチャ教室を実施し、専門的な技術やランプの活用法を子どもたちが意欲的に学ぶことができました。

また、作業療法士の巡回指導を受けた教員が各学部でミニ学習会を行い、鉋を使用する時に肘を締めることや鉋の向きを固定するために手首を支えることなど、具体的な指導内容を学習している映像で振り返りながら共有し、指導に活かしています。

連携

「連携」では、センター的機能として教員が小中学校だけでなく、連携校の高校の生徒への支援を行ったり、生徒が作業で作ったエコペーパーバックをセンターハウスに配布し活用してもらったりしました。今後も将来の豊かな生活を目指して連携していきます。

つながる！みんなの水族館(展示作品)



学芸員役の生徒が友だちに展示品を説明する様子

ポッチャの講習を受けてジャックボールからの距離を判断している様子



近隣の駄菓子屋を見学している様子

水を入れたゴム手袋に絵の具の色をつけて紫陽花の作品を作っている様子



静岡教弘リタイアメントライフプランニングセミナーのお知らせ

**教育関係者の方は
どなたでも参加できます！**

今年度60歳、61歳、62歳を迎えられる教弘会員の皆さまをはじめ、教育関係者の方はどなたでも参加いただけるリタイアメントライフのプランニングに役立つセミナーを開催いたします。

今年度60歳を迎えられる教弘会員の皆さまには10月にセミナーの案内を発送いたしますので、ぜひお早めにお申し込みください。

地区	開催日	曜	時間	会場
東部	11月21日	土	10:00	田方教育会館
	12月5日	土	10:00	ふじさんメッセ(予定)
	1月23日	土	10:00	プラサヴェルデ(予定)
中部	1月16日	土	10:00	ホテルアソシア静岡
西部	11月28日	土	10:00	総合教育センター
	12月12日	土	10:00	浜松市教育会館

詳細は、「静岡教弘だより No.164 秋号」
(10月1日発行予定)に掲載いたします。

**リタイアメントライフのプランニングに
役立つ情報をお届け！**

**日教弘サポート
会員募集中!!**

日教弘の趣旨（教育の振興に寄与すること及び教職員の福祉向上を図ること）に賛同していただける全国の教育関係者ならどなたでも日教弘の会員になることができます。こちらの二次元コードまたは入会申込書にてご入会ください。入会された方には、日教弘会員証（「日教弘クラブオフ利用証」付帯）が発行され、福利厚生をサポートする『日教弘クラブオフ』の利用ができます。



**保険
こぼれ話**

**70年以上にわたってパートナーシップ関係にある
ジブラルタ生命保険株式会社の学校担当者が
皆さまの学校を訪問して静岡教弘事業のご案内と
教弘保険をご提案させていただいています。**



信頼できる心強い
ジブラルタ生命の LC

共済事業(提携保険事業)提携会社
ジブラルタ生命保険株式会社
浜松支社 支社長 南 亮輔

私が所長時代に関わった出来事です。教員のお客様が糖尿病を患い、病状は重く、合併症などもあり、足を切断しなければなりませんでした。治療に対する給付金は受け取ることはできましたが、先生の不安は、今後働けなくなり、奥様も看病のため仕事をやめなければならないということにありました。しかもお子様が三人いらして、これから大学に進学するというタイミングでした。

親身になって話を聞いていた担当の LC から、病气や家庭のことで何かできることはないかと私に相談がありました。詳しい状況を聞いていくと、高度障害保険金を支払えるのではないかとこの話になりました。しかし、診断書の内容からは、支払いの対象にはなりません。そこで、なんとかならないものかとドクターに症状や今後の回復見込み等を詳しく聞いてみることにしました。伺った話の内容と、実際の状況からも高度障害に該当しているのに、受け取った診断書では、保険金支払いの対象とならないことを丁寧に説明したところ、診断書の文面に加筆してくれることになりました。その後、当社だけでなく加入していたすべての保険会社からも高度障害保険金が支払われ、安心して生活を送ることができました。

自身のライフスタイルに合わせて、いざというときに安心できる保険契約を選ぶことは、もちろん大事ですが、いざというときに親身になって支えてくれる担当 LC がいることの大切さを感じるとともに、信頼できる心強いジブラルタ生命の LC を誇りに思えた出来事でした。

**静岡教弘参事の
つぶやき**



仏像への思い

東部地区担当 柴田敬紀

仏像巡りが趣味である私は、担当地区にある伊豆荏山の願成就院というお寺をよく訪れます。

特に私のお気に入り、ここにある多聞天(毘沙門天)立像、あの東大寺南大門の金剛力士像でも有名な運慶の若き頃の作です。県下に五体ある国宝に指定された仏像(他の四体もここ願成就院にあります)です。この多聞天の、遠く鎌倉武士達の心をも揺さぶった静かなる迫力には、いつ来ても圧倒されます。

多聞天は足元に二体の邪鬼を踏みつけています。台座にもなっている邪鬼の姿もまたとてもユーモラスでリアルに彫られています。背中を踏まれ俯せになった邪鬼の腹の部分は当然外からは全く見えません。しかし地に接している腹部も実はただの平面ではなく、腹の筋肉や弛み等が他の見える体の部分と同じように、ものすごくリアルに彫られているのです。(写真で、腹部側を見ることができます。)台座の底部として誰の目にも触れることのない部分も一切の妥協を許さない運慶の心根にも感動です。

仏像の魅力は、まだまだ奥が深いです。私の仏像に対する思いも歳とともに益々強くなっています。これからも更なる出会いが楽しみです。



令和8年度静岡教弘教育研究実践論文募集のお知らせ

未発表でオリジナルな内容の教育研究実践論文を募集し、優れた論文を表彰します。その研究成果を広く県下の学校等に紹介し、静岡県教育の発展、向上に寄与します。

対象	【学校部門】 県内の国・公・私立の幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 【個人・グループ部門】 上記の学校(園)や、県内の教育機関等に所属する教育関係者個人及びそれらの人々で組織する教育研究グループ			
応募	事前に今年度(令和 8 年度)の「論文の書き方」「応募申請書」「推薦書(個人・グループのみ)」を当支部事務局または参事、共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命の学校担当者へご請求いただくか、下記URL(静岡支部HP)よりダウンロードしてお使いください。 https://www.nikkyoko.or.jp/company/shizuoka/dl.html			
審査	静岡教弘教育研究実践論文審査会(第 1 次審査)で審査し、教育振興事業選考委員会(第 2 次審査)で選考後、幹事会の議を経て、支部長が受賞者を決定します。			
表彰	12 月中旬(予定)に表彰式を行い、下表の奨励金を贈呈し賞状を授与します。			
		学校部門	個人・グループ部門	奨励編数
	静岡教弘最優秀賞	60 万円	30 万円	2 編(各 1 編)
	静岡教弘優秀賞	30 万円	10 万円	5 編
	静岡教弘優良賞	10 万円	5 万円	20 編程度
	静岡教弘奨励賞	3 万円	1 万円	上記以外の全ての論文
応募締切	8 月 31 日(月) 静岡教弘事務局必着			
応募 問い合わせ	〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-12 静岡県教育会館4F 公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部 TEL 054-205-5130 9:00~17:15(土・日・祝日を除く)			



創立75周年記念

静岡教弘クイズ
当選者発表
Airdog mini を
10人に贈呈!!

静岡教弘だより No.162 春号の創立75周年記念静岡教弘クイズには 1,234人のご応募をいただきました。

正解は、①クイック レスポンス ②ウルトラ バイオレット ③インダクション ヒーティング ④チーフ エグゼクティブ オフィサー ⑤ロー コスト キャリア ⑥フリーク エントリー アスクド(ト) クエスチョンズ ⑦グロス ナショナル インカム ⑧ヨーロピアン ユニオン ⑨ブラインド カーボン コピー ⑩アーティフィシャル インテリジェンスでした。

正解者 562 人の中から厳正な抽選の結果、10 人の方々に「Airdog mini」を贈呈いたします。

次回、静岡教弘だより No.164 秋号のクイズもお楽しみに!

河村 枝美 (御殿場市立御殿場小学校)	稲穂 将人 (浜松市立清竜中学校)
中村 明乃 (富士市立富士見台小学校)	曾田 昌代 (湖西市立新居中学校)
加藤亜里紗 (掛川市立大淵小学校)	梅原 孝博 (静岡県立浜松商業高等学校)
中村 佑真 (浜松市立泉小学校)	土屋 愛 (静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校)
飯尾 博孝 (藤枝市立岡部中学校)	大石 亜美 (袋井市立浅羽西幼稚園)

最終受益者は子どもたち!!

公益性

学校・
教職員の皆さま

共済性

公益財団法人
日本教育公務員
弘済会

教弘保険

提携保険会社
ジブラルタ生命

8月10日(月)~17日(月)
事務局閉局いたします!

宿泊利用券の申請は、宿泊施設へ直接ご予約後、事務局に一週間前までにご連絡ください。閉局期間は、宿泊利用券の発行はできませんので、お早めにお申し出ください。

公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称 日教弘)の教育振興事業(奨学事業・教育研究助成事業・教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

静岡教弘だよりは、全文敬称を略させていただきます。

